



会 より さくら だより

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人とが互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第71号 2025年10月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <https://shinagawa-sakurakai.or.jp>

「認知症とともに生きる」

認知症月間とは？

品川区立月見橋在宅サービスセンター

「国際アルツハイマー病協会」は毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。

また日本でも施行された認知症基本法において、広く認知症についての関心と理解を深めてもらうために毎年9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と決めました。

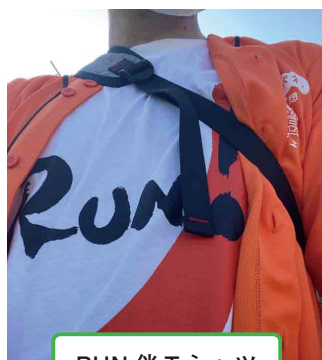
この期間、区内の各地でイベントが行われます。

今年もさくら会では、利用者と一緒に認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色の花苗を植える活動を行います。期間中、さくら会でオレンジ色の花を見かけることが多くなるかと思えます。

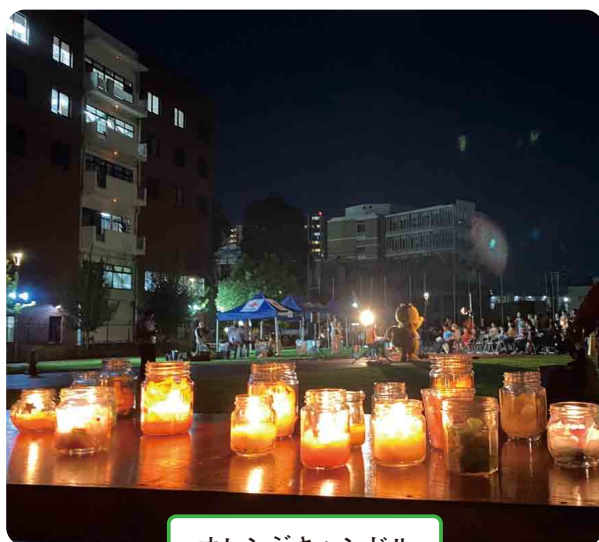
鮮やかに咲く花たちを
目で楽しみながら身近な
人たちと認知症について
語り合ってみましょう。



推進委員の上着



RUN 伴 T シャツ



オレンジキャンドル

私や大切なあなたが認知症の診断を受けたら、どのように生きていきたいのか、どのように関わってほしいのかを言葉にしてみる機会としていただけたら嬉しいです。

その他にも10月には、区内認知症サポーターが企画運営する「しながわオレンジフェスタ」や、「RUN伴（ランとも）しながわ」も開催予定です。どちらのイベントにも認知症の方が参加されるようです。

関心がある方はホームページで検索してみてもいいでしょうか。

夏祭り

南大井在宅サービスセンター

南大井在宅サービスセンターでは8月に恒例の夏祭りを実施しました。

フロアーには提灯の飾りつけと品川音頭などの音楽が流れ、夏祭りの雰囲気を楽しみました。

縁日では、職員が法被を着て盛り上げる中、おなじみのホワイトボードを的にした射的、厚紙で作った金魚をうちわですくい上げる金魚すくいをおこないました。

簡単なゲームですが、多くの皆様が楽しまれ、活気に満ちていました。



また、夏の涼をとってもらうためにかき氷を振舞いました。イチゴ味とメロン味のどちらにするかで迷われた方もいらつしやり「どちらもたべたいな」との要望も多く聞かれ、大変好評でした。

今年の夏も暑い日が続きましたが、南大井在宅サービスセンターの夏祭りでは一時の涼やかな時間を利用者に満喫していただくことができました。

「スマイルカフェさくら」開店！

南大井在宅介護支援センター
品川区立月見橋在宅サービスセンター
ケアセンター南大井

8月3日（日） 12時半～14時半 さくら会1階
談話コーナーにて、認知症カフェ「スマイルカフェさくら」を開店しました。

認知症の方のご家族の思いや、ご自身の認知症への不安など、認知症に関するテーマになんでもおしゃべりする場です。

さらに、今回は、月見橋のお隣の南大井図書館から図書館員が参加し、本の提供をしていただきました。

当日は、猛暑の中、12名もの方のご来店をいただき、和やかな雰囲気でおしゃべりに花が咲きました。

ご来店の方々からは、「他の方の介護の話が聞けて、とてもためになった」「不安を話すことで、気持ちの整理ができた」「楽しかった」等々の嬉しい感想をいただきました。

今後は、11月、2月に開店を計画しています。
お一人100円でペットボトルの飲み物とお菓子、認知症情報冊子等をご用意しています。

皆さまのご来店を心よりお待ちしております！



家庭菜園で味わう小さな「地産地消」

品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム

(大井林町倶楽部)

大井林町倶楽部では、今年も家庭菜園を楽しんでいます。

プランターには青じそやみょうが、バジル、パセリ、唐辛子、ローズマリーなど、季節を彩る野菜やハーブを植えました。

暑さに負けないよう、職員だけでなく利用者にも水やりや手入れに参加していただき、協力しながら、育てる喜びを分かち合っています。



収穫した作物は食卓へ。
先日は採れたてのバジルを使い、「ポテトとトマトのチーズバジル焼き」を調理しました。
香り豊かな一皿は大変好評で、利用者の笑顔が広がりました。
「次はどんな料理にしようか」と話し合う時間も楽しいひとときです。



自分たちで育て、味わう小さな「地産地消」は利用者にとっても職員にとっても特別な体験です。四季を感じながら一緒に過ごす時間は、夏ならではの思い出作りにもつながっています。

品川介護福祉専門学校卒業生の集い

当法人の前田理事長が発起人となり、専門学校の学生が減少している現状を考慮し、専門学校の魅力や介護職の展望を語りました。

当法人には、専門学校卒業生が27名在籍。今回の集い(6月25日(水)午後6時～8時)には、6名の卒業生が集まりました。

専門学校の魅力とは？

- ・奨学金制度があり、入学金などの負担で経済的負担が小さいこと
- ・異なる年代の同級生が多く楽しい経験ができ、団結力が高い
- ・教員と学生の距離感が近く、教員の熱量も高く手厚い指導だった
- ・教員は学生のことを良く見てくれ、サポートをしてくれた

学生を増やすには

- ・両親にも介護の魅力を理解してもらいたい
- ・SNSを活用し、学校イベントや情報発信をしていく
- ・地域イベントなどに参加し、学校のPR活動を行う

今の仕事との関係

- ・学生時代の経験が現在の仕事の土台となっている
- ・将来は、訪問業務で在宅生活を支える職務につきたい



ふたつのネジのお話

南大井訪問看護ステーション

所長 大笹 勝典

私には忘れられないふたつのネジがあります。

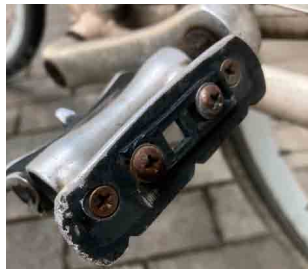
ひとつは洗濯機のネジ。洗濯機が壊れ、このネジがないと部品交換ができず、買い替えになるとの修理業者さんの説明。腐食しているネジは普通のドライバーではとれず、近所の金物屋さんの協力でネジがとれました。修理業者さんに再度連絡し、無事に部品交換ができました。

もうひとつは自転車のペダルネジ。ネジをひとつ紛失したので、近所の自転車屋さんに行ったところ、そのネジは取り扱っておらず、ペダルの交換になるとのこと。腑に落ちない思いを抱え、ネジ専門のお店に相談したところ、1個単位で販売してくれました。

どちらもたったひとつのネジですが、とても大切なネジ。小さなことでも全体に影響を及ぼすという教訓を得ました。

同時に、修理業者さんや自転車屋さんもその道の専門家です。私たちも看護の専門家として、利用者のニーズに沿った看護が提供できているか？

「たったひとつのネジ」を大切に作る心構えで利用者やその家族と関わっているか？今の私にとってとても大切な振り返りの機会を、ふたつのネジが与えてくれたのでした。



第21回さくら会まつりのご案内

日時 令和7年11月2日(日) 午前10時から午後1時
場所 社会福祉法人さくら会

内容 南大井高齢者保健福祉複合施設
模擬店、ゲームコーナー、園芸販売、
園芸体験コーナー、パン・お菓子・手作り雑貨・
工芸品等の販売、

品川介護福祉専門学校PRコーナー 他
後援 社会福祉法人 品川区社会福祉協議会
協力 大井第一町会連合会
大井第一地区支え愛活動会議
大井第一地域センター
社会福祉法人 品川総合福祉センター
社会福祉法人 福栄会
品川介護福祉専門学校



町会および区内法人をはじめとする地域の皆様のご協力をいただきまして、色々な企画を準備しております。
どうぞ、お誘いあわせの上、お越しください。
職員一同お待ちしております。



くるみちゃんも来るよ！

くるみちゃん 品川区の認知症啓発キャラクター
まちぐるみ・地域ぐるみ・品川ぐるみ

※駐車場がございません。公共の交通機関をご利用ください。

連載NO.30

……専門職に聞く……

南大井訪問看護ステーション

理学療法士 浅沼 慎吾

Q1…仕事の内容

利用者のご自宅に伺い、心身の状態や利用目的に合わせて適切な運動を行ったり、転倒防止や生活がしやすいするための環境調整・助言等を行います。

Q2…専門職として心掛けていること

利用者のこれまでの生活の継続や、やりたいことがなるべく実現できるよう、その人にとって必要なりハビリを機を逃さずに提供できることを心がけています。

Q3…利用者、読者に向けてメッセージ

本年4月に入所施設から異動し、利用者を迎える立場からご自宅にお伺いさせていただく立場になりました。
実際の生活を見ながら、新たな視点で考えることが多く、とても勉強になります。まだまだ慣れないところもありますが、今後ともよろしくお願いたします。



次回1月号は介護職の

「山田哲司」さんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和8年1月です。